

八ヶ岳・広河原沢左俣見晴らしルンゼ 2017/01/07

メンバー：落合（CL・記録）, 平川

天候：快晴

舟山十字路 6:00 広河原沢出合 7:10 左俣遡行・登攀開始 8:10 三俣滝 12:25

御小屋尾根登山道 (2,450m) 14:15 2,600mまで登り返し休憩 舟山十字路 17:20

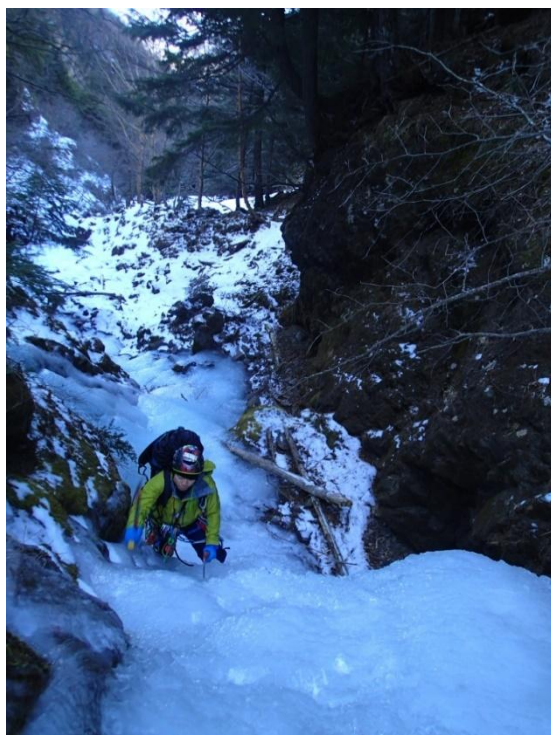
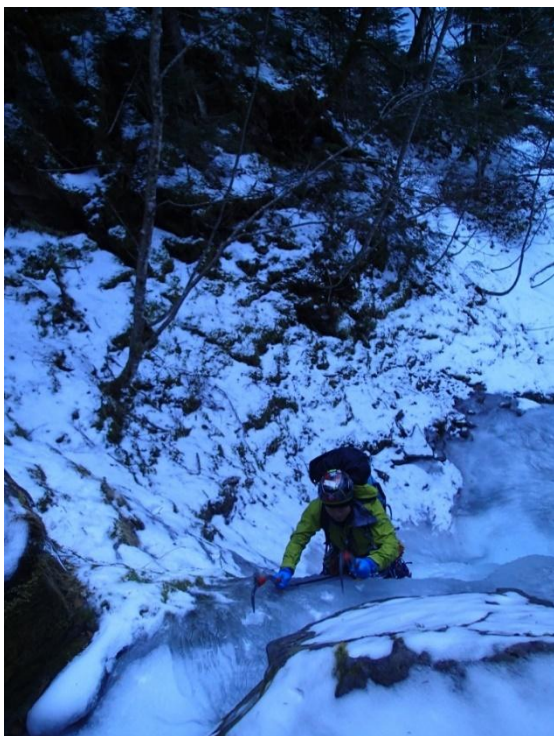
1 月初めの 3 連休、シーズンの足慣らしに 1 泊で計画を練っていたが、中日が南岸低気圧の影響でボツとなり、日帰り転戦となる。。

今シーズンもまだ暖冬の影響色濃く近場の氷は凍っておらず、日帰りで行ける選択肢が限られ計画に悩んでいたが、行ってみて凍ってなかったという悔しさを考えるなら堅実なルートという事で八ヶ岳でシーズンイン。

広河原沢は今回はじめて行ってみたが、右俣下部のゲレンデ T R で大賑わいの中登るのは気が引けるし、都会の山で人混みに紛れるのは息苦しいので、雪も少ないし上まで抜けてみようと思い、左俣見晴らしルンゼに行くことにした。八ヶ岳にまで来ても他人と同じことをしたくないという反骨精神が働いてしまうが、こんな登山に付き合ってくる平川君は私の貴重なパートナーの一人でもある。。

林道奥は幕営適地がたくさんあるが、泊まるなら二俣上部の園地がいちばん近くベースにはちょうどいい。（トポには林道奥が適地と書いてあるが、二俣上部まで進んだ方が効率がいいと思う）

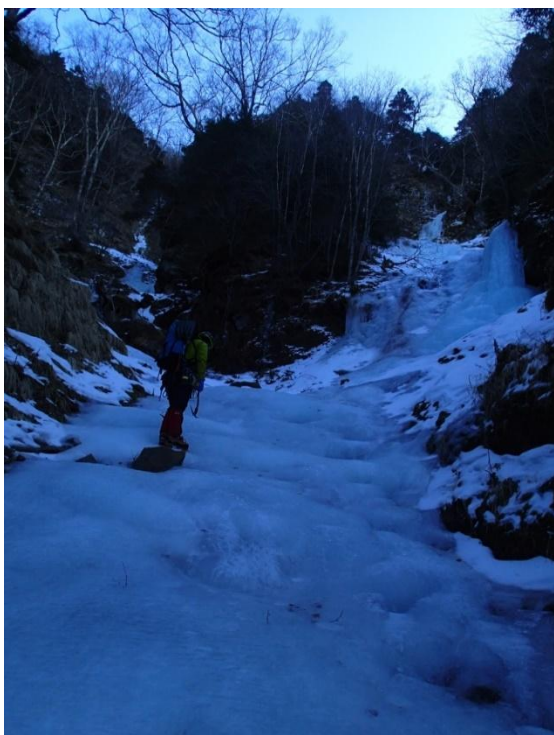
我々は日帰りなので、ヘッドン付けて舟山十字路を出発。朝日を浴びる阿弥陀岳は 1 月とは思えない程雪が少ない。左俣の河原が氷で繋がりはじめる所で準備をして入渓。見晴らしルンゼは出合に顕著な小滝があるので分かりやすい。左俣本流には数パーティー入渓していたが、3 連休唯一の好天だというのに我々はルート上では誰とも行き会わなかった。。どうせ日の目を浴びない寂れたルートなのだろう、でも我々には路地裏にひっそりと佇むお店の方がシックリ来るから仕方ない。。



下部は若干氷が緩いがフリーで越えていく。

少し歩くと氷が安定しはじめて、支流に幅広の滝が掛かりせっかくなので登ってみる。（左下）

見晴らしルンゼの本流は左だが、支流の滝は登ってみると3段70mくらいあり意外と楽しめる。



下部の3段大滝（左）、中段から本流に戻りまたすぐに快適な滝を登る。（右）

下段はⅢ級、中段はナメのⅡ～Ⅲ級、上段はⅣ級程度で滝はルンゼの中に消えていくが、我々は上部に抜けるつもりだったので、中段まで登り本流にトラバース。この滝は3段で50mロープ・2ピッチで登れないが、一段目を登ったら中段のナメが意外と大きく下から見上げるとすべて繋がっているようには見えない。ゲレンデとして遊ぶならこの滝周辺で練習するのがいいと思う。

ルートとしては核心は最上部の三俣滝、短い滝だが左二本は日当たりがよく、いちばん右側が安定している（Ⅳ級程度）。アルパインを意識しての登攀となると歩荷や疲労、判断力、色んな意識を持って登らないといけないので上部に行けば行くほど試されてる感があって面白い。

そこが下部で遊んでるだけのゲレンデ・アイスとの違いだと思うが、シーズン初めに練習もせずいきなり後輩を連れまわしてしまい悪かったかなあ・・・と思いつつ、山に行きまくって体力と小学生トークだけはしっかり出来上がっている平川君（溪嶺随一メンタルの弱い男）にはこういう所で少しずつ精神力を鍛えて欲しい。筆者もシーズン初めということもあって、上部に行けば行くほど登攀も疲労で力みが生じてしまったが、アイスは自分の課題が明確に分かる形態だけあってテーマを絞りやすく奥が深い。



最上部は三本の滝が掛かるがいちばん右側が氷も固く安定している。

冷え込みがもっと強くなれば上部のルート取りも多彩でより楽しいルートになるだろう。

上部は見晴しルンゼという名前の通り、振り返ると南・中央・御嶽・北アルプス周辺の山が一望出来てお買い得感がある。積雪量が増えるとラッセルもキツそうだ。最上部は二俣になっているが、左に行くと三本の滝が掛かり、右は 20m くらいのバーチカルな氷柱がカーテン状に掛かり終了となる。（右は繋がっていたが氷が細く傾斜も強いので登攀の対象になるかどうかは微妙、いずれも中間尾根から高巻いて両滝を確認出来るが、傾斜が急なので一部悪い箇所がある）

我々は左側の三俣滝の方に入り、最後は御小屋尾根に出るが、尾根に出るまでもモナカ雪や凍った草付のトラバース、乾いた土壁を登ったり、最後はアイスクライミングというよりチャンポン登山になってしまい、八ヶ岳にまで来てもスマートに登ることは出来なかったが沢登りのツメのようで楽しく登れた。

尾根に出たら終日あまりに天気がいいので、懲りずに阿弥陀岳がよく見える 2,600m 付近まで登り返し、最後はヘッデン下山で御小屋尾根を下降した。

見晴しルンゼは今の自分たちの技術や体力を見極めるにはちょうどいいルートである、全装で横岳方面に抜けての継続登攀等、八ヶ岳はルート取りも多彩だ。

帰りは小淵沢駅近くのやまよし食堂で夕食を済ませたが、夜遅くまで営業（飲み屋兼）してるしボリュームもあって山の帰りには都合がよく、まさにやまよし！だった。

次に広河原沢に来ることがあったら力を付けて今度は今回の延長上のルートとして、是非また平川君と組んで右俣 3 ルンゼをツメて阿弥陀岳に登ってみたいと思う。